

百花繚乱

富士川の夜空に咲き乱れる大輪の花

富士川花火大会は7月24日、富士川河川敷憩いの広場をメイン会場として開催された。午後7時30分に予告花火が10発打ち上げられると、司会者と来場者が一体となってカウントダウン開始。花火が2か所から打ち上げられるとあちらこちらで歓声が上がった。

ことしの花火大会は「富士川の合戦」をテーマとした光と音の競演が見どころ。富士川を舞台として、源氏と平氏がにらみ合った歴史絵巻を、夜空に散る花火・音楽・効果音で表現した。途中、メモリアル花火が打ち上げられ、恋人や家族・同僚に向けたメッセージが会場に響くと、来場者もまた温かい笑みを浮かべた。

会場には、家族連れなど多くの人が訪れていた。沼津市から花火を撮影に来ていたカメラマンは「富士山と水管橋、富士川そして花火と一緒に撮影できたら最高だね。来年も来たいよ」と笑って会場を後にした。

スターマインや仕かけ花火、直径が200メートルにもなる一尺玉も打ち上げられ、富士の夜空に大輪の花を咲かせたことしの富士川花火大会。花火に照らされた来場者の顔には、花火よりも鮮やかな表情が浮かんでいた。



花火ロードから花火を見上げる和田さん家族(森島)。その顔は花火色に染まっていた。



1

メモリアル花火に思いを込めて



よしゆき

大場芳幸さん(右)から家族へ

「ありがとう」の気持ちを込めた花火を、家族に内緒で上げました。少し恥ずかしかったけれど、家族が喜んでくれて本当によかったです。みんな、いつもありがとう。これからもよろしくね。

妻の素江さんから芳幸さんへ

びっくりしましたが、感動はそれ以上でした。花火きれいだったよ。

娘の隆世さんから芳幸さんへ

お父さんありがとう。これからも家族みんなで仲よく頑張ろうね！



3



2

1 富士市街地を彩る花火 2 会場を盛り上げた司会者。会場が一体となったカウントダウン 3 富士川中州で花火を最終確認する花火師 4 歓声上がる富士川河川敷憩いの広場に設けられた栈敷席

4

